

教育目標『ふるさとを愛し 自ら考え たくましく生きる児童の育成』

～思いやりのある子・進んで学ぶ子・たくましい子～



松小だより

令和6年12月11日(水)

学校通信 第37号

発行 学校長

電話 027-393-1521

※個人情報の取扱にご留意ください。

〈 松井田小ホームページ <http://www.annaka.ed.jp/shin-matsuida/> 〉



第2回「読書週間」を振り返って

2学期も残すところ2週間を切り、まとめの時期となりました。10月に実施した第2回読書週間の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。昨年度の反省として、家庭での読書時間が少ないことが挙げられたため、ご承知のとおり本年度はステップ・アップ週間から「読書時間の記録」を切り離し、新たな試みとして「読書週間」を年3回設定したところです。(詳細は学校通信 No.5 参照)

その結果、現2年生から6年生までの児童について、昨年度3学期(第3回ステップ・アップ週間)と本年度1学期(第1回読書週間)の「一日当たりの読書時間平均」を比較すると、児童全体の66.7%が増加しました。さらに、現1年生から6年生までの児童について、本年度第1回と第2回の読書週間における「一日当たりの読書時間平均」を比較してみても、児童全体の71.4%が増加しました。

これらの比較から、課題となっていた読書時間の確保については、その質はともかくとして、回を追うごとに量が増えてきていることがわかります。「読書カード」には、ご家族からの心温まる励ましや賞賛のコメントがたくさん見られました。度々のお願いで心苦しいところではありますが、お子様には確実にご家族の思いが伝わっています。週間を習慣へとつなげていくことがこの取組の目的ですので、これからもご家庭における読書の習慣化に向けて、ご協力をよろしくお願いいたします。

読書時間の比較



第1回：5/7(火)～12(日)6日間

第2回：10/15(火)～20(日)6日間

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生	
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回
学級平均/日	10分	14分	15分	25分	27分	36分	36分	45分	27分	27分	27分	30分
個人平均最大/日	27分	33分	35分	47分	58分	113分	94分	103分	53分	45分	77分	64分
個人平均最小/日	7分	8分	7分	12分	10分	14分	16分	20分	10分	18分	2分	17分
■	15分未満	14人	8人	3人	2人	1人	1人			2人		3人
	15分～	2人	7人	8人	4人	11人	8人	8人	5人	7人	8人	9人
	30分～		1人	1人	3人	1人	5人	2人	3人	5人	8人	5人
	45分～					5人	2人	3人	2人			2人
	1時間以上						4人	3人	6人			

※事情により読書カード未提出の児童がいるため、第1回と第2回の合計人数が異なります。

【1年生】

- ・たくさんの本を読むのもよいけれど、一つをじっくりよんでみるのもいいね!
- ・本の中で面白かったところを考えながら読むと、もっと楽しく読めますよ。
- ・本を読む習慣ができてきました。この後もたくさん本を借りて、お気に入りの本を見つけてください。

【2年生】

- ・今回も妹や弟に読んであげていました。これからもたまに読み聞かせをしてあげてね。
- ・ずいぶん集中力がついてきましたね。また図書館に行って、面白そうな本と一緒にさがしましょう。
- ・前よりももっと上手に読んでいました。お母さんもお話が聞けて楽しかったです。また読んでね。

【3年生】

- ・最近は読書の時間が減って、スクリーンタイムが増えていたので、よいきっかけになりましたね。
- ・図書館で借りてきて、少し厚い本でも時間はかかりましたが、あきらめず読めてえらかったです。
- ・図書館でも集中して読書をしていて、成長を感じました。
- ・本で知ったことを問題にして、テストをつくって楽しかったね。

ご家族の
皆様から

【4年生】

- ・読める本の種類が増えてきて嬉しいです。読書の楽しさを一緒に味わっていきなるといいなと思います。
- ・弟や妹に防災のサバイバルのクイズを出してくれたので、家族みんなで楽しいひと時を過ごせました！
- ・大人でも読むのが大変そうな本もどんどん読めていて、成長を感じました。
- ・これからも本をたくさん読んで、知ったことをお母さんに教えてね。

【5年生】

- ・私が幼い頃好きだった話を読んでくれました。嬉しかったです。
- ・本は頑張って読むのではなく、「気になるな」「おもしろいな」「知りたいな」などを感じることができると一番よいと思うよ。
- ・今回の読書週間では、知らない言葉を知ることができたね。新しく知った言葉を、日常生活の中で使えるようになると、また楽しいね。
- ・読書の習慣がなかったので、この一週間にしっかり時間を取ることができ、よい機会になりました。「本て楽しい」と言っていました。
- ・今回は以前とは違い、長い物語の本を嬉しそうに読んでいました。厚い本は「字が多い～」と嫌って避けていましたが、とても成長を感じました。



〔 教室での読み聞かせ 〕

【6年生】

- ・最近、家で読書をするのが増えてきて、本当に嬉しいです。
- ・幼い頃は寝る前に本を読んでいましたが、今は読まなくなりました。よい本があったらまた一緒に読みたいです。
- ・新しい分野や世界を知ることは、とてもよいことです。どんどん読んで、父さんにも内容を教えてください。
- ・百人一首や伝記などを読んでいけば、歴史を学ぶときにも興味をもって学べるので、将来役に立つときが来ると思いました。
- ・「お母さん、おもしろい本があったよ」と夢中で読んでいたね。これからも楽しく読もうね。
- ・スマホやテレビだけではなく、活字に触れる機会は大切なので、継続してほしいです。
- ・前よりは読書をするようになってきました。この調子で身に付いていってほしいと思います。



〔 読み聞かせボランティアによるミニシアター 〕

松井田城歴史講座

今回、6年生では真田幸村や徳川家康など、歴史上の人物にスポットを当てた本を読む児童が見られました。6年生では社会科で初めて日本の歴史を学んでいます。また、昨年に続いて11月13日（水）には、松井田城址保存会にお世話になり「松井田城歴史講座」も開催しています。お話や紙芝居をとおして、校歌にある「城の跡」の歌詞の意味を知り、身近な歴史遺産に興味をもち始めた6年生。講座からすでに1か月が経過していますが、児童の感想を一部ご紹介いたします。



- 〇〇 〇〇 さん： いつも通っている学校の近くに、あんなにすごいものがあったとは思いませんでした。山城ということで、いろいろなところにわなを仕掛けられたと知りました。ほかにも、紙芝居で松井田城であった戦いもわかり、とてもよい勉強になりました。これからは地域のことも知りたいです。
- 〇 〇〇 さん： 私は、松井田城のことを聞き、松小の裏の方はもう松井田城の場所であったということを知りました。天下統一をした豊臣秀吉でもとても苦勞したことを知り、松井田城はすごいところなのだと思います。城といえば石の壁があると思っていたので、自然を使った壁もあるということを知りました。城跡も一回行ってみたいなと思いました。
- 〇〇 〇〇 さん： 社会の歴史の教科書には、ほんの一文で全国を統一したと書かれていたけど、その裏ではいろいろな事があるんだなと思いました。それが松井田城の存在で、兵力の差が10倍もあるのに、松井田城に攻め入って落城させるまでに約一か月もかかったということです。本当にすごいと思いました。松井田の誇りだと思います。